

# 平成24年大磯町議会

## 9月定例会一般質問（9月13日・14日）

質問議員	質問事項（1日目）	答弁者
<p>1 15番 清水 弘子議員 (70分) 9:05~10:15</p>	<p>1. 緑の基本計画の見直しはされるか 緑の基本計画は総合計画と都市マスタープランの緑の施策の基本となる計画で、平成15年3月策定された。 (1) 平成14年度からはじまり、平成32年(2020年)を目標年とし、社会経済情勢の変化に対応して、必要に応じて見直すとしているが、今後されるか。 (2) あおぼとが町の鳥となり、駅周辺の緑が重要な場所となっている。良好な保存樹林を残していくために新しい制度が必要と考えるが。 (3) 風致地区などの指定の進捗は。</p> <p>2. 駅前マンション計画の跡地について 町から駐輪場等の活用を考えていると聞いている。交渉の経過は。 大磯駅周辺の景観に今後のあり方により大きく変化すると考えられる。 町民の意見等をどのように取り入れていくか。</p> <p>3. 鳴立庵西側の葬儀場建設計画白紙は その後の交渉は進んでいるか。</p> <p>4. 星槎グループ国際学園から保証金1億8000万円は支払われたか (1) 1億8000万円を支払ってもらうための協議は進んだか。 (2) サッカー場の工事完了届の検査は終わったか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>2 3番 土橋 秀雄議員 (70分) 10:35~11:45</p>	<p>1. 町は国際学園との契約問題に対し、町民への説明責任を果せ 学校法人国際学園と大磯町の関係が大磯町民には、全く理解ができない。 本来、万台こゆるぎの森は大磯町民のものである。 現在まで多くの議員の方々が一般質問をされているが、その質問に対しての町の説明は、町民には全く理解されていない。 町民が正しく理解できるように、万台こゆるぎの森購入目的と事業者選定から現時点までの経過を説明せよ。</p>	<p>町 長</p>

	<p>2. 町としての制服についての考え方は</p> <p>ゆとり教育が日本全国に広がり、教育の基本のように定着して久しいが、その教育を受けて育った子ども達も、すでに家庭を持たれている。しかしながら、現状、連日のように新聞、マスコミ等に子育て問題が大きく取りざたされている。</p> <p>大磯町教育委員会としては、ゆとり教育に対し、どのような考えか。</p> <p>また、その当時、大磯中学校の制服は廃止され、国府中学校は自由となり現在に至るが、今、小学校、中学校の保護者に制服問題が浮上している。その意見は様々だが、特に高校入試制度が変わった事等が大きな要因とされている。町としての考えは。</p>	町長 教育長
<p>3</p> <p>7番 竹内恵美子議員 (60分) 13:00~14:00</p>	<p>1. 地域で安全・安心に暮らしていくために</p> <p>平成24年度から介護保険法の改正があり、本町でも4月から改正された。</p> <p>(1) 改正後の各施設からの課題や要望は。</p> <p>(2) ボランティアによる「大磯町のポイント制度」の進捗状況は。</p> <p>2. 国が次世代育成に関する政策論争を広げるなか、本町としての、子育て支援への強化について</p> <p>(1) 子育てしやすいまちづくりとは。</p> <p>(2) 自治体による子育て支援「そだれん」とは。</p> <p>(3) 子育て支援の今後の展開とは。</p>	町長       町長 教育長
<p>4</p> <p>13番 坂田よう子議員 (70分) 14:20~15:30</p>	<p>1. 旧吉田茂邸再建と邸園文化圏再生構想の展望について</p> <p>焼失以降、綿々と続いてきた町と県との旧吉田茂邸再建への検討は、ここにきて、ひとつの大いなる節目を迎えることとなった。旧吉田茂邸再建に関する県との協定締結が行われた。7月27日には、基本協定の締結、さらに、7月31日には、今年度の年度協定の締結と着実に進展してきた。この一連の経過を踏まえ、旧吉田茂邸再建の展望について町の所信を伺う。</p> <p>また、旧吉田茂邸は、邸園文化圏再生構想の一角を担っている。旧吉田茂邸再建に連動した邸園文化圏再生構想のさらなる推進を期待する。駅前洋館は、邸園文化の歴史や本建造物への理解と愛着を深めるため、これらに関する情報を得ることのできる展示等の機能を確保する活用方針に沿って事業者が決定した。第7回湘南邸園文化祭2012は、旧安田邸や県立大磯城山公園等を活用し、本年度も開催されている。邸園文化圏再生構想の展望について町の所信を伺う。</p>	町長



	<p>2. 今年度から県立高校の入試制度が変わるが、その目的はなにか</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 平成 16 年度から前期・後期の制度になった。どのような問題から今回の制度となったのか。</li><li>(2) 今回の制度のプラス面、マイナス面はどうか、学校における指導はどう変わったのか。</li><li>(3) 義務教育である中学校において進路指導はどのように行われているか。</li></ul>	町 長 教育長
--	--	------------



<p>7</p> <p>12番 関 威國議員 (50分) 10:30~11:20</p>	<p>1. 観光立町のための具体的な観光政策を問う</p> <p>(1) 観光立町の目的とビジョンは何か、予算計画は。</p> <p>(2) 町と観光主要団体（観光協会、商工会、ガイドボランティア協会）の横の連携はどのようにしているか。各団体へ何を期待し支援しているか。</p> <p>(3) 観光の基盤整備（観光バス駐車場、観光客トイレ、休憩所、ガイボラの案内所、観光案内板、観光資源等）計画は。</p> <p>(4) 鳴立庵、旧藤村邸等では観光客へどのような観光サービスをしているか。お客さまによるこぼれる新しいサービスを考えているか。</p> <p>(5) 公開されていない歴史的重要な建造物の陸奥宗光邸、大隈重信邸、池田成彬邸等は民間の所有物であるが、交渉して活用する計画はあるのか。</p> <p>(6) 滄浪閣はどうなっているか、雑草が生え荒れてきたが。</p> <p>(7) 旧吉田邸の再建の基本プランができたが、建物に付随した町民ホールなどの研修や会合に利用できる施設はあるか、維持管理費は年間いくらかかるか。</p> <p>(8) 2013年NHK大河ドラマは「八重の桜」である、主人公の新島八重は同志社創立者の新島襄を支えた妻である。新島襄終焉の地で知られる当町は観光に活かす絶好のチャンスである。具体的な計画は進んでいるか。</p>	<p>町 長</p>
<p>8</p> <p>5番 三澤 龍夫議員 (30分) 11:20~11:50</p>	<p>1. まちづくり活性化とは何か</p> <p>このまちの、まちづくりを活性化をと、よく言われている。単純なイメージとしては、他から人と金の流入を期待し、まちが潤うこととして捉えられているように思う。</p> <p>果たして、それが真のまちづくりと言えるのか。</p> <p>このまちに住む住民が主体者としてのまちづくりを考えていく必要があるのではないか。</p> <p>大磯の自然環境を背景として、住む人の“心の環境”を豊かにする、そのようなまちづくりも必要ではないか。</p> <p>町長の考えを伺う。</p>	<p>町 長</p>
<p>9</p> <p>9番 鈴木 京子議員 (90分) 13:00~14:30</p>	<p>1. 神奈川臨調への町の対応は</p> <p>県緊急財政対策本部調査会（神奈川臨調）の提言による町への影響（町内の県施設・補助金等）と対応策について所見を問う。</p>	<p>町 長 教育長</p>

	<p>2. 信頼関係が生まれる教育現場づくりとは いじめによる中学生の自殺の波紋は大きい。町長は教員との懇談で首長として何が必要と考えられたか。また教育委員会の対応は。</p> <p>3. 町道幹 16 号線等、住民同意のない計画は中止を マリア道の新設拡幅をはじめ、町の道路計画は住民の同意の得られないものもある。マリア道の進捗状況と 16 号線への考え方を問う。</p> <p>4. 公共施設の再配置の考え方、進め方は 公共施設の再配置の具体的な計画はあるか。また、自転車駐車場や学校給食施設等、新たに検討が必要な施設については、町民参加で計画をつくるのか、所見を問う。</p> <p>5. 学校法人国際学園との課題の進捗は 毎回質問している項目の進捗状況は。また、保証金の預り金 2000 万円は定期借地権の設定上、十分と考えるかを問う。</p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p> <p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p>
<p>10</p> <p>1 1 番 吉川 重雄議員 (90 分) 14:50~16:20</p>	<p>1. 公約を実現するための課題は何かを問う</p> <p>(1) 公約を実現するためには、町長・職員が一体となって取り組むことが必要不可欠である。とりわけ、職員の「やる気」は重要な要素となる。しかし現実、職員の「やる気」が感じられないと思っているのは、私一人だけではない。</p> <p>では、どうして職員の「やる気」が感じられないのか、「やる気」がおこらないのか。何か問題があるのか。町長の見解を問う。</p> <p>(2) 8 月 23 日に催された福祉文教常任委員会協議会において、町長と教育委員会の見解にズレを感じた。議題は次のとおりであった。</p> <p>○中学校給食に関する懇話会の設置及びスケジュールについて</p> <p>○放射性物質（給食食材）の測定方法の検討状況について</p> <p>そのズレは公約を実現するための弊害にならないのか。町長と教育長のそれぞれの見解を問う。</p>	<p>町 長 教育長</p>

	<p>2. 教育委員会の隠蔽体質を問う</p> <p>大津市で起った中学生の自殺という悲しい事件があった。この事件を通して「いじめ」についてと真相究明をめぐって、学校、教育委員会の対応に疑問が投げかけられ、本質的に、学校及び教育委員会には、隠蔽体質があるとの議論が拡大し、今の教育委員会が必要か否か、在り方にまで発展してきた。</p> <p>このことは、当町教育委員会においても、他人事とは思っていないと思うが、町長・教育長の考え方を問う。</p>	町 長 教育長
--	--	------------

10名 25問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。